

第31回日本パラ陸上競技選手権大会の結果について

第31回日本パラ陸上競技選手権大会が開催され、区出身の高田千明選手、若生裕太選手が出場し、好成績を収めた。

本大会は東京2020大会の出場権獲得の基準となる世界ランキングの対象となる大会であり、まだ出場権を獲得していない若生裕太選手にとっては、出場権のかかった重要な大会であった。大会の成績は以下の通り。

※高田千明選手は、走幅跳で、すでに東京2020大会の出場権を獲得している。

1 大会概要

(1) 日程

令和2年9月5日(土)、6日(日)

(2) 会場

埼玉県熊谷市「熊谷スポーツ文化公園陸上競技場」

2 結果

(1) 高田千明

○成績：走幅跳(T11クラス) **優勝 4m46cm**
100m(T11クラス) **優勝 13秒69**

○選手情報

萩中小学校出身。

全盲クラスで、走幅跳と100mの日本記録
(4m69cm、13秒45)保持者。

前回のリオデジャネイロ2016大会は両種目
に出場し、走幅跳で8位入賞。東京2020
大会では走幅跳で表彰台を目指す。



(2) 若生裕太

○成績：やり投(F12クラス) **優勝 54m37cm**
※大会記録更新
100m(T12クラス) **3位 12秒32**

○選手情報

大森第四小学校、大森第一中学校出身。

区在住。大学2年生の秋にレーベル遺伝性
視神経症を発症し、中心部分の視力を失う。
やり投を始めて、約1年で日本記録を更新
(56m94cm)。

東京2020大会出場を目指す。現在やり投
世界ランキング8位。

